



人権啓発に役立つ映画(DVD)のご案内 ～国連NGO横浜国際人権センター制作～



国連NGO横浜国際人権センターでは、「人権」を取り扱った映画・DVDの制作を行っています。

「人権」ってどういうものだろう？

言葉だけ聞いても漠然としていて、分かりにくいですよ。

当センターが人権啓発のために制作、共作した映画・DVDは、延べ153本にも及びますので、ここで全部紹介することは残念ながら出来そうもありません。

そこで、代表的なもののみを取り上げて、紹介します。

これらは、横浜国際人権センター山梨ランチで貸し出すこともできます。

また、今後、山梨県からの委託により、これらの映画DVDを市町村教育委員会や県教育事務所に配布していく予定です。

学校や、企業、地域、各種団体、行政などでの人権啓発・学習の機会に積極的に御活用いただければ幸いです。



<映画>

- 「やさしさは風になり」 (横浜国際人権センター制作、1989、56分)
(横浜を舞台に、仕事で家庭を省みない夫、自立する妻、障がいのある子、同和地区出身の女性等、現代の家庭の姿をさまざまな側面から描く。)
 - 「お兄ちゃんありがとう」 (横浜国際人権センター、井之上企画共作、1992、52分)
(筋ジストロフィーの少年とその家族の苦悩。その中から芽生える命の尊さへの自覚、そして人間としての生き方についての成長を描く。)
 - 「マリア・ルス号事件(日本の人権の夜明け)」 (横浜国際人権センター制作、1993、20分)
(明治5年(1872年)、横浜港に停泊中のマリア・ルス号(ペルー船籍)内の中国人苦力を奴隷であるとして、日本政府・外務卿の副島種臣と神奈川県権令の大江卓が解放した事件を紹介)
 - 「人間の誇りー水平社宣言ー」 (横浜国際人権センター制作、1993、20分)
(1922年3月3日、京都における全国水平社創立大会で、人間個人の尊厳という考え方に立った人権宣言が発せられました。1948年、第二次世界大戦後、国連総会において採択された「世界人権宣言」よりも四半世紀も前のことであり、私たちはその意義の重大さをあらためて認識させられます。)
 - 「命と人権を守るために」 (横浜国際人権センター制作、1998、20分)
 - 「ゴミの大逆襲」 (横浜国際人権センター制作、1993、20分)
 - 「愛と正義に生きる」 (横浜国際人権センター制作、1995、30分)
- 他79本



甲府市との共催による「人権啓発パネル展」を5月10日から23日まで、甲府市立病院と甲府市立北公民館で開催しました。

また、5月22日に甲府市水道局や甲府市管工事協同組合からの依頼を受けて、当センターの杉藤会長が人権研修の講師を務めました。



甲府市立病院にて、甲府市職員と



人権マンガパネル展より

〒400-0831 甲府市上町601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房1階事務室
国連NGO 横浜国際人権センター・山梨ランチ (代表・横山 隆史)
(Tel・055-243-8563、fax・055-243-8564)